

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくばみらい教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童数に応じた職員配置を確保しており、十分な支援体制を整えている。また、専門職を配置している。	児童一人ひとりの特性や支援の必要度に応じた個別対応ができるよう心掛けている。また、活動内容や場面に依りて職員の役割り分担任を明確にし、安全に支援を行うとともに、集団活動の中でも必要に応じて適切に寄り添い、安心して過ごせる環境づくりに努めている。	安全かつ円滑に支援が行えるよう、それぞれの役割分担任を明確にして遂行するとともに、常に全体を見渡した配置意識していく。また、専門職が持つ知識・技術等を一般職でも出来る範囲で学ぶなど、教室内外の研修の機会を増やし、職員の質を高めていく。
2	日々の活動内容について、児童の発達段階やニーズに合わせたプログラムの工夫を継続的に行っている。	児童の興味関心や課題に応じた内容となるよう工夫している。テーマが同じでも、難易度を返るなどしている。季節行事や生活に結び付いた体験活動なども取り入れることで、楽しみながら学びにつながる機会を提供している。	児童の発達段階を見極め、活動の目的を明確にして適切な課題を提供できるよう努める。定期的にレベルの見直しなど、成長に合わせて活動の難易度や手順を調整し、児童が楽しみながら意欲的に参加でき、成功体験を積み重ねられるよう配慮していく。
3	毎日の支援終了後に職員間で情報共有・報告を行い、支援内容の統一と質の向上に努めている。	活動中の行動面や情緒面の変化、支援の工夫点を共有することで、職員間で支援方針の統一を図っている。朝礼及び終礼により詳しく報告することや、日報・申し送りノートを活用することで、チームとして一貫した対応ができるよう努めている。	児童の状況や問題解決に向けて、ご家庭での様子や悩み事など、保護者様からのお聴き取りを増やしていく。教室として、ご家庭からの相談窓口を設けいつでもご相談できることを広報するなどして、保護者様がお悩みやご相談をしやすい環境を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニング、家族参加型の支援が出来ていない。	時々アドバイスはさせていただいているが、それ以上にペアレントトレーニングとしてのきちんとした知識が十分ではない。また、家族が参加できるようなプログラムを取り入れていない。	保護者様のニーズを把握し、それに応えられるよう勉強会をしたり、研修を積極的に受けて、知識を高める。また、家族が参加できるようなプログラムを取り入れていく。
2	地域との関わりが少なく、こばん以外の児童との交流の機会が少ない。	児童の特性から普段と違う環境での反応に不安があり、安全面での配慮から教室関係以外の人々との交流には慎重になってしまふ。	安全面を確保した上で地域のイベントに参加するなどして、社会への関わりの練習の機会を設ける。
3	災害に関してのマニュアルの存在や、防災訓練の実施について、保護者様にあまり周知されていない。	毎日の児童の様子については、インスタグラムやWEB連絡帳にてお知らせしているが、それ以外の取り組みについてのお知らせがあまり出来ていない。避難訓練も、その日に参加した児童のご家庭には様子が伝わっても、全員には伝えられていない。	こばんだよりやインスタグラムにて、児童の様子のほかにも教室の取り組みなどについてお知らせする。安全対策において、非常時の連絡先や引き渡し方法などを保護者様に定期的の確認するなど、より具体的な訓練を行う。